



## LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

### 「相互貸借サービス」一時停止のお知らせ

3月に実施する図書館システムの更新に伴い、他自治体の図書館、大学図書館、専門図書館、国立国会図書館からの取り寄せサービスを一時停止いたします。

■受付停止期間: **1月21日(土)～3月12日(日)**

■対象館: **千代田区立図書館 全館**

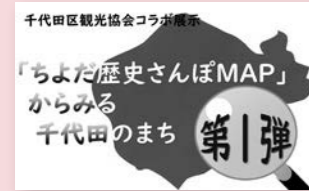
※詳しくはスタッフへお尋ねください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 展示 PICK UP

■2F パープルゾーン 【江戸・東京】の本を集めたゾーン **～2/28(火)**

【千代田区観光協会コラボ展示】

### 「ちよだ歴史さんぽMAP」からみる 千代田のまち 第1弾



千代田区観光協会が発行しているパンフレット『ちよだ歴史さんぽMAP』(全4シリーズ)の「①江戸城とお堀めぐり」とのコラボ展示です。見附跡や大名屋敷跡など江戸時代の名残が数多く残る千代田区。その歴史を学び、パンフレットを片手に当時の町並みに思いを馳せながら千代田の街を散策しませんか？



■2F エレベーターホール **～2/17(金)**

【日比谷カレッジ】

### 「一時をかけて、映画音楽の歴史の旅へ— タランティーノに渋谷系、 90年代サントラ事情を考える」関連展示



90年代の映画音楽は、「リバイバル」「リスペクトからの引用」「過去作品からの影響」「渋谷系」など様々なワードから語られます。また日本においてもインディーズ映画が開花した年代でした。そんな時代を当時の関連グッズと共に本を展示しています。カレッジと共に当時の空気感をお楽しみください。



リバイバルブームを感じるコーナー

メインタイトルと展示風景

## 2月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

### 2F パープルゾーン 文化財企画展 「龍星閣が見つないだ夢二の心」関連展示(～2/28)

三角台 1階 特別展示室で開催の文化財企画展にあわせて、竹久夢二の挿絵・装幀・絵画などの作品集を中心に、大正時代に活躍した画家や流行したアール・デコなどのデザイン、龍星閣に関連する資料をご紹介します。

### 3F ブルーゾーン 「《泉》からはじまる?現代アート」(～2/17)

本展示では、一般的に難しいと思われがちな現代アートについて、誰もが親しむことができるように、現代アートに関連する資料を「まなぶ」、「しる」、「であう」といった、いくつかの 카테고リーに分けて紹介します。

### 3F グリーンゾーン 「手」(～5/12) **NEW!**

コロナ禍により、接触・ふれることについてマイナスなイメージが生まれました。この展示では「手」をキーワードに、人やモノに「ふれること」や周囲との「ふれあい」について今一度考えます。見た方に、繋がりやコミュニケーションを意識してもらおうきっかけとなるような展示です。

## 展示 PICK UP

■3F エレベーターホール **～2/19(日)**

### 池波正太郎 生誕100年記念展示

1月25日の池波正太郎生誕100年に合わせて、日比谷カレッジ『池波正太郎生誕100年「池波正太郎の思い出」』が開催されます。本展示は、その関連展示として「作品紹介」「人物像」「池波正太郎略年表」の3つのコーナーに分けて、池波正太郎とその業績を様々な角度から紹介しています。また、展示会場各所にゆかりの人々から寄せられたメッセージも多数展示してありますので探してみてください。生誕100年の記念に開かれるこの展示に、池波ファンだけでなく、まだ池波を知らない方もぜひお立ち寄りください。



展示の様子



#### 『男の作法』

- 池波 正太郎 著
- 新潮文庫
- 2007年

#### 『おおげさがきらい』

- 池波 正太郎 著
- 講談社
- 2003年



おおげさがきらい、池波正太郎



## 千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

### 開催中! ～3月31日(金)まで

入場無料

※休館日: 2月20日(月)、3月1日(水)～12日(日)、3月20日(月)

【主な展示図書】『江戸名所図会』、『風俗画報』、『都の華』、『東京百事流行案内』ほか

【会場】4階特別研究室

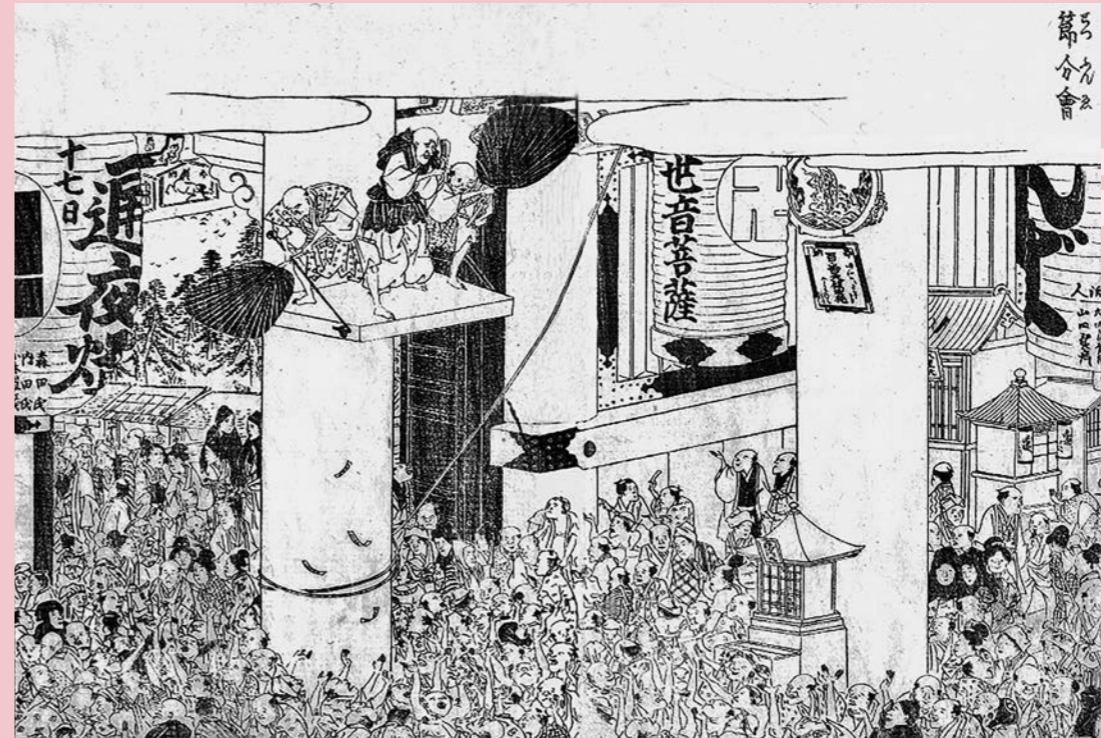
【開室時間】平日 10:00～20:00

土曜 10:00～18:00

日曜・祝日 10:00～16:00



特別研究室所蔵の江戸・東京資料にはその時季ならではの風習や行事の様子が残されており、江戸・明治期の生活に触れることが出来ます。今回の企画展示ではそれらの蔵書から、主に現在では行われていない風習や年中行事、春夏秋冬の景色などの資料を紹介しています。今とは違う江戸東京の人々の暮らしを知ることが出来る展示です。



節分会 (斎藤月岑編 長谷川雪旦画「江戸名所図会」/東都書舗/1836年) 浅草寺の江戸時代の節分会の様子です。本堂の柱に登ったお坊さんが、団扇を扇いで魔除けのお札を群衆に向けて撒いています。

### 3/24(金) 関連講座 古書で紐解く近現代史セミナー 第43回 江戸から東京への移り変わり—<sup>すじかい</sup>筋違広小路一带のあり方を中心に



講師: 松山 恵 (明治大学文学部准教授)

かつて江戸と呼ばれた都市は、どのようなプロセスをへて東京となったのだろうか? そして、そのとき、人びととその暮らしにはどのような変化が起こったのか? 今回の講演では、「八つ小路」とも呼ばれ、江戸有数の広場であった筋違広小路一带に注目しながら、その移り変わりをたどります。

- 日時: 3月24日(金) 14:00～15:30 (13:30開場)
  - 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
  - 定員: 200名
  - 参加費: 1000円(千代田区民・学生500円)
- ※住所が確認できるもの、学生証をご提示ください。

## calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2023年 2月							2023年 3月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	4				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28					26	27	28	29	30	31		

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。

## 千代田区立図書館 全館休館のお知らせ

千代田区立図書館は、図書館システムの更新を行うため、次の期間、全館休館するとともに、サービスを一時休止いたします。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

●休館日 **3月1日(水)～3月12日(日)**

※貸出施設の予約・利用ならびに日比谷カレッジの参加申込受付も利用いただけません。※休館中は電話も不通となります。その他の詳細については、千代田区立図書館のホームページをご確認ください。

## access

- 〔都営地下鉄〕
  - 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
  - 〔東京メトロ〕
  - 丸ノ内線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
  - 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
  - JR「新橋駅」徒歩10分
- ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

# 2・3月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 2/17 (金) 一時をかけて、映画音楽の歴史の旅へー タランティーノに渋谷系、90年代サントラ事情を考える

講師：志田 一穂(ラジオDJ)

多彩なジャンルが出揃った80年代までの映画音楽は、90年代に入ると、さらに引用、リスペクト、コピー&ペーストと混乱を極めます。更にパソコンが普及、映像にはCG導入と、時代はインターネットとデジタルが主となり、映画や音楽にも多分に影響を及ぼしていきます。そんな世紀末のサントラ事情を今回も音楽と一緒にご案内していきます。



- 日時：2月17日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

## 2/24 (金) 戦争の記憶を消してはいけない！ 一吉村昭、井出孫六、井上ひさしの場合ー

講師：山口 昭男(岩波書店元代表取締役社長)

戦争の記憶を消してはいけない。1945年の敗戦時、吉村は18歳、井出は13歳、井上は10歳だった。彼らは何を思い、何を後世の若者に残そうとしたのか。また戦後生まれの人間は、どのように戦争の記憶を伝えることができるのかをお話します。



- 日時：2月24日(金)19:00～20:30(18:30開場)
  - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
  - 定員：200名 ■ 参加費：1000円(学生500円)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

## 2/25 (土) ちよだの歴史と文化の講座 史跡常盤橋門跡の歩み ー復興と継承の400年

講師：篠原 杏奈(日比谷図書文化館文化財事務室 学芸員)

令和2年度に石橋の修理工事が終了し、東日本大震災以来10年ぶりのお披露目となった史跡常盤橋門跡。江戸時代に江戸城外堀の見附として常盤橋門が造られてから約400年間、度々火災や地震で被害を受けながらも、修復・再建され、現在まで守られてきた歴史を古地図や古文書などの歴史資料からたどります。



常盤橋門跡と石橋

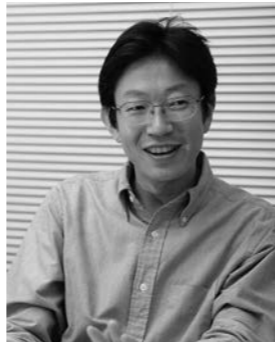
- 日時：2月25日(土)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：500円(千代田区民 無料)

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

## 3/16 (木) 漢字でひもとく 動物たちの伝説と現実

講師：円満亭 二郎(フリーライター)

「不如帰(ほととぎす)」「麒麟(きりん)」「狼狽(ろうばい)」「猩々(しょうじょう)」など、動物を表す漢字の中には、少し掘り下げると不思議な伝説が姿を現すものが少なくありません。それらを具体的に紹介しながら、伝説の背景にある現実と、古人の豊かな想像力について考えます。



- 日時：3月16日(木)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：1000円

## 3/17 (金) サトシンの 絵本みんなで楽しみまショー

講師：サトシン(絵本作家)

人気絵本作家・サトシンさんが日比谷カレッジに登場します。絵本の読み聞かせと動画や弾き語りを組み合わせた「読み聞かせライブ」の実演のほか、保護者や司書、教職者に向けたお話し会の展開ノウハウ等も余すところなくご披露いただきます。当日は、おとも子どもも楽しめること間違いなしです。



- 日時：3月17日(金)18:30～20:00(18:00開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：1000円(未就学児無料)

## 3/18 (土) 千代田区民講座 自分のからだは自分で守る

講師：中島 昷保(中島カイロプラクティックセンター院長)

自然医療であるカイロプラクティックは骨格構造、特に脊椎・骨盤を中心に調整して、体全体を治療していくことを主眼としています。今回の講座では自然治癒力の高いからだづくりについて分かりやすくお話します。



- 日時：3月18日(土)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名
- 参加費：無料

※千代田区民は1月25日(水)から、区民以外は2月1日(水)から受付開始。

## 3/24 (金) 林野庁×日比谷カレッジ これからの森林。可能性は、無限大。 ～国民参加の森林づくり、建築物の木造化、森林と健康～

講師：森下 興(林野庁企画課 課長)  
恒次 祐子(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)  
瀬上 清貴(NPO森林セラピーンサエティ 理事長)

森林や木材との関りは炭素の実現とともに、心身面にも仕事面にも効果をもたらすと注目されています。木材や森林を利用することの意義や事例、健康との関り、効果について、森の楽しみ方や科学的知見も交えて3名の専門家が解説します。



- 日時：3月24日(金)19:00～20:45(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

## 開催中！ ●2月28日(火)まで ● 観覧料無料

【令和4年度文化財企画展】

# 龍星閣がつないだ 夢二の心

ー「出版屋」から生まれた夢二ブームの原点

令和4年4月1日に区指定文化財となった「龍星閣旧蔵竹久夢二コレクション」をもとに、夢二ブームを再燃させた区内の出版社・龍星閣の活動と大正ロマンを象徴する竹久夢二の作品を紹介します。この機会に、千代田区の夢二コレクションをご堪能ください。



龍星閣旧蔵竹久夢二コレクション

- ◆ 前期(～1月29日)、後期(～2月28日)にて展示替えあり。
- ◆ 休館日：2月20日(月)
- ◆ 開室時間：月～木・土 10:00～19:00、金 10:00～20:00、日・祝 10:00～17:00
- ◆ 会場：1階特別展示室
- ◆ 主催：千代田区、千代田区教育委員会

## 広報室より 2023年の恵方

は「南南東のやや南」です。最近では節分に恵方巻を食べる方角として知られていますが、明治頃までは初詣は恵方へとお参りしていました。今年は、日比谷図書文化館を中心に考えると新橋方面、その先には「日比谷神社」があります。日比谷神社は現在、港区東新橋2丁目にありますが、慶長11(1606)年頃までは日比谷公園内にありました。また江戸城の築城や関東大震災、都市道路計画など時代と共に何度も遷座(移転すること)してもなお、現在まで鎮座していることから運氣アップの場所としても知られています。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのおしらせ】

## 千代田区内中学校・高等学校展示 in 千代田図書館

千代田区内の中学生・高校生の委員会や部活動、授業の成果などを展示します。

- 1 開催中 ～ 1月30日(月) 二松学舎大学附属高等学校「図書委員会+理数科研究部+書道部」
- 2 1月31日(火) ～ 2月13日(月) 錦城学園高等学校「文系クラス」
- 3 2月14日(火) ～ 2月28日(火) 三輪学園中学校・高等学校「読書サークルクラブ」
- 4 3月13日(月) ～ 3月27日(月) 共立女子中学高等学校「図書委員会」
- 5 3月28日(火) ～ 4月10日(月) 東洋高等学校「図書委員会」

▶▶▶ 場所：千代田図書館9階 第2展示ウォール

## 3/31 (金) アーティストが生まれるところ ～東京藝大美術編

講師：伊藤 久美子(美術作家、藝大アートプラザ チーフキュレーター)

狭き門としてマンガにも描かれる東京藝術大学美術学部油画専攻は、絵画の枠を越えた多様な表現を追求するアーティストを輩出しています。どんな人がなぜ、どうやってアーティストになるのか。藝大の入試や授業、藝大アーティストの気質など、キュレーターとしての経験から、藝大の謎に迫ります。



東京藝術大学構内にある藝大アートプラザ (撮影：五十嵐美弥)

- 日時：3月31日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：40名 ■ 参加費：1000円

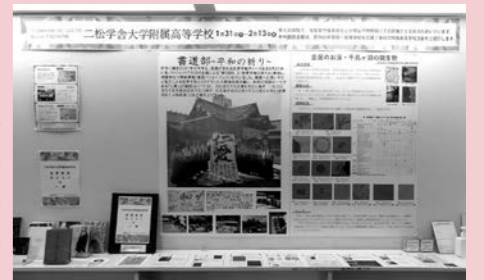
## 古文書塾てらこや◆2023年2月開講

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開講します。



		講座名	曜日・時間	実施日
入門コース 120分 (全5回)	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30～	2/6	
		(月) 13:30～	2/6	
		(火) 10:30～	2/14	
		(木) 13:30～	2/9	
		(金) 13:30～	2/10	
本科コース 120分 (全5回)	文人画と碑文一掛軸を読む	(日) 13:30～	2/12	
		(水) 13:30～	2/1	
		(木) 10:30～	2/2	
		(土) 13:00～	2/11	
		(火) 19:00～	2/14	
特別講座 90分 (全5回)	大久保利通の手紙を読む	(水) 13:30～	2/8	
		(木) 18:30～	2/2	
		(金) 18:30～	2/3	
		(土) 10:30～	2/4	
		(火) 19:00～	2/14	
特設月1回 コース (全3回)	ハーバード大学蔵『源氏物語 須磨』を読む【翻字者育成講座】	(金) 14:00～	2/17	
		(金) 11:00～	2/17	

- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)、4階セミナールーム(会議室)
- 受講料：【入門コース】【本科コース】各回3,360円(別途資料代500円)、【特別講座】各回2,730円(別途資料代500円)、【特設月1回コース】【翻字者育成講座】各回3,360円(別途資料代300円)、【異文を楽しむ講座】各回2,730円(別途資料代300円)
- 特設月1回コースには別途テキスト ハーバード大学蔵『源氏物語 須磨』(税込1,760円 2013年 新典社)が必要です。(当館でのご用意も承ります。)
- 受講料は各回でのお支払い(現金のみ)をお願いいたします。なおテキスト代は、初回に一括でお支払いとなります。●てらこやに関する資料をご希望の方は無料でご送付いたします。■資料請求・講座のお問い合わせ：電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館 古文書塾てらこや 担当迄



昨年の展示